

生物多様性を、
一気通貫で。



TEL 075-432-7622

MAIL info@biome.co.jp



<https://biome.co.jp>



私たちについて

About us

私たちバイオームは、生物多様性の保全があたりまえとされる社会の実現を目指し、「環境保全をビジネスにすること」にチャレンジしています。生物多様性に関する独自のビッグデータと可視化技術を駆使して、科学と社会を繋ぎ、生物多様性の保全を実現するプラットフォームを構築・運営しています。



index & About us P.01

Solution P.02

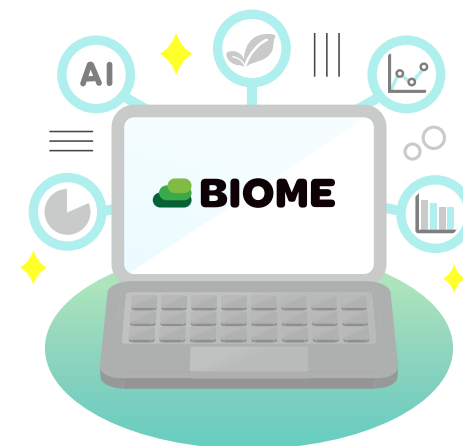
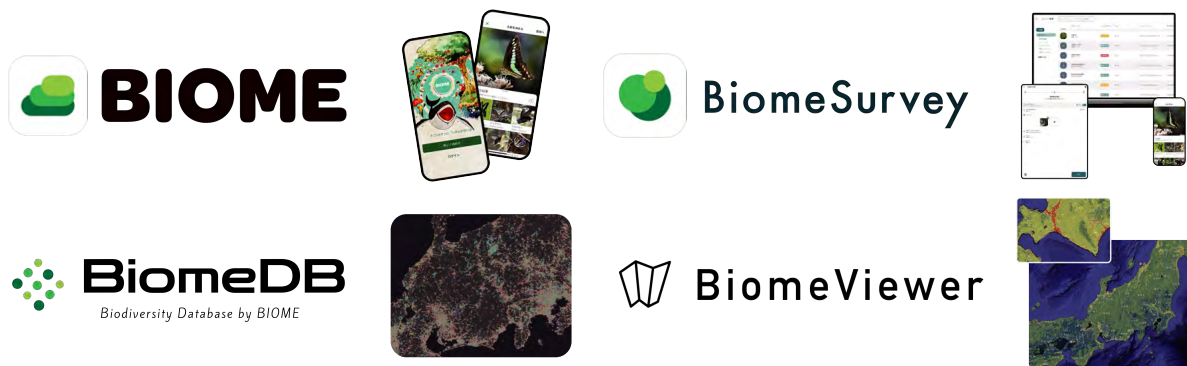
Product P.03

Service & Case Study P.04~10



Product — プロダクト —

Biome シリーズは、生物多様性に関するビッグデータの収集から、蓄積、高度な解析、そして実用的なアウトプットまでを、一気通貫でサポートします。自然環境の保全や研究、ビジネスにおける意思決定を、確かなデータに基づき加速させます。

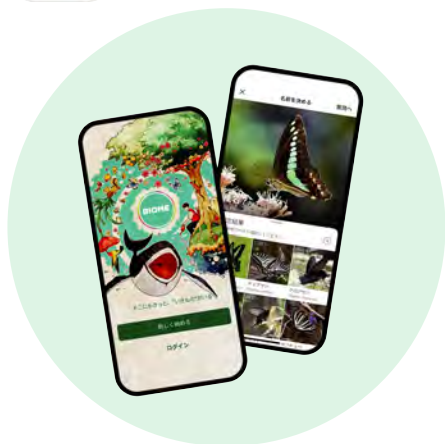


Service — サービス —

私たちは、Biome シリーズをはじめとするプロダクト群を柔軟に組み合わせることで、お客様の抱える多様な地域課題に最適なサービスを提供します。データに基づいた確かなアプローチで、地域にとってかけがえのない生物多様性の保全を強力にサポートし、持続可能な未来の実現に貢献します。

- 市民協働いきもの調査
- 生物多様性地域プラットフォームの構築・運用
- 地域の生物多様性可視化・分析

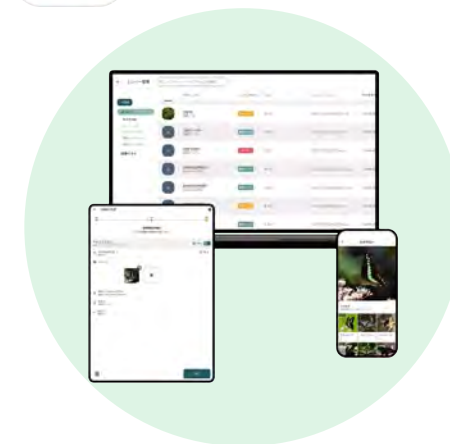




「Biome」は、日本の動植物ほぼ全て（約10万種）に対応した最新の名前判定AIを備えた、市民参加型の生物情報収集アプリです。「クエスト」「図鑑」「マップ」「SNS」など、いきもの探しや生物調査を一層楽しめるような機能を備えており、企業や自治体の生物多様性施策の可視化・データ取得・環境教育・地域共創を実現します。



BiomeSurvey



「BiomeSurvey」は、従来は専門家任せだった調査業務の内製化・省力化を可能にする、直感的な操作性と、国内最大級の生物データベースに裏打ちされた生物種の同定を支えるAI技術を搭載したツールです。



「BiomeDB」は、日本全国からリアルタイムで集積される市民科学データと、研究機関等の信頼性あるオープンデータを統合した、国内最大級の生物多様性データ基盤です。



BiomeViewer



「BiomeViewer」は、高解像度・高精度の予測技術をもとに、国内各種生物の分布を可視化するマッピングツールです。TNFD公認ツールで、事業と自然との関係性（依存・影響）を把握し、リスクと機会の洗い出し、対策の優先順位づけをサポートします。

市民協働いきもの調査

ご予算：250万円～

いきものコレクションアプリ「Biome（バイオーム）」を活用した企画やイベントの実施を支援します。本アプリは、ユーザーが生き物を撮影してコレクションしながら楽しめるツールで、自治体様にとって多様な価値を提供します。

例えば、アプリを使った自然観察イベントやキャンペーンで、地域の認知向上や観光客数の増加に貢献します。

生物データ収集では、自治体専用の生物データを収集し、

環境保全の取組や公表資料等への活用、さらには自治体専用の生物データプラットフォーム構築が可能です。市民の皆さまを巻き込むことで、地域への愛着やエンゲージメント向上にも有効です。

弊社は企画立案から運営、データ解析まで一貫してサポート。豊富な実績を活かし、最適なイベントをご提案します。



提供内容

■ アプリによる市民協働調査

アプリに備わっている「種同定AI」と「クエスト機能」を活用すれば、専門知識がない方でも楽しく生物調査にご参加いただけます。市民の皆さまと協力して調査を行うことで、地域の生物多様性の変化を継続的に把握し、保全活動へ役立てることが可能です。



クエスト機能とは

アプリ「Biome（バイオーム）」のクエストとは、特定のテーマに沿ったいきもの探しイベントです。「〇〇（特定のいきもの）を〇種投稿する」といったミッションを設定し、期間内に条件を満たしたいきものを撮影・投稿することでクエスト達成を目指します。

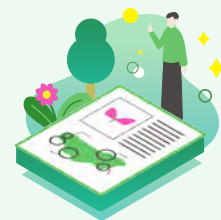
■ 内部報告資料作成

実施したクエストを通じて収集された生物データやユーザーの活動状況は、詳細なレポートとしてフィードバックされます。これらのレポートは、お客様のPDCAサイクルにおいて貴重な参考資料としてご活用いただくことができ、効果的な地域活動や環境保全戦略の立案を強力に後押しします。



■ 公表資料作成

市民の皆さまから寄せいただいた生物分布情報をもとに、地域の生態系を分かりやすく解説する公表資料を作成します。デザインやイラストもゼロから作成可能です。



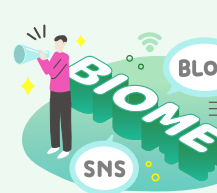
■ イベント企画

クエスト達成者へのアンケート実施に加え、モチベーションを高めるプレゼントの実装など、ご要望に応じた多様なオプションサービスもご提供可能です。



■ メディア媒体

Biomeでは、アプリのプッシュ通知に加え公式ブログや各種SNSを通じて、クエストなどの最新情報を発信します。



自治体 足立区 様

- 目的**
- ・市区町村における生物多様性の認知・意識の向上
 - ・市域の生物情報の不足
 - ・生物多様性地域戦略に定める施策の具体的なアクションの実施

提案内容

- アプリ「Biome(バイオーム)」におけるクエストイベントの実施
- 調査結果を分かりやすく報告する「市民向け公表資料」の制作

東京都足立区では、区民の皆さま、とりわけお子様に生物多様性への理解を深めていただくために、アプリ「Biome(バイオーム)」を活用した区民参加型の生きものの調査を実施しています。また、区民の皆さまが撮影・投稿したデータを集めて「あだち生きもの図鑑」を作成することで、区内の自然を可視化し、希少種の保全や外来種対策等の普及啓発も行っています。令和3年度から開始した本取り組みは、生物多様性地域戦略に掲げる施策の具体的なアクションとして、区民の皆さまからも親しまれています。



「あだち生きもの図鑑」をつくらう! (足立区様ホームページ)



「あだち生きもの図鑑」をつくらう! 2024春夏編 開催レポート



自治体 神戸市 様

- 目的
- ・神戸市域における生物多様性や外来生物問題、野生鳥獣問題の認知・意識の向上
 - ・地域の生物情報の不足

提案内容

- アプリ「Biome(バイオーム)」におけるクエストイベントの継続した実施及び生物情報の蓄積
- 調査結果を分かりやすく報告する「市民向け公表資料」の制作

神戸市は、人口約150万人の大都市でありながら、海、山等の自然が身近にある生物多様性豊かなまちです。一方で、里山の衰退、外来生物や野生鳥獣による生態系への影響などにより、生物多様性が失われつつあります。こうした課題に対応するため、神戸市では、アプリ「Biome(バイオーム)」を活用し、外来種や里山の自然環境の指標となる生きものを対象とした市民参加型の調査を継続して実施しています。当調査の結果により、例えば、特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリについて、これまで確認されていなかった地域で新たに発見され、対策につながったことなど、有用な情報が得られており、神戸市の外来生物対策に活用されています。



夏休み生きものクエスト2025～神戸で夏の生きものさがし～(神戸市様ホームページ)



生物多様性地域プラットフォームの構築・運用

ご予算：応相談

弊社が培ってきた生物多様性情報プラットフォームの構築・運用ノウハウを活かし、地域の環境保全のためのプラットフォーム作りを支援します。地域のデータ基盤を整備することで、今までできなかった

データドリブンな環境政策立案や施策評価・意思決定、効果的な市民への発信を円滑に進めることが可能です。環境教育やエコツーリズムなど、多様なニーズに対応することも可能です。



提供内容

■ データ基盤構築

クエストで得られたデータと、既存の情報を統合し、生物多様性地域情報データベースを構築します。このデータベースは、地域固有の生態系を理解するための基盤となり、環境保全活動へ貢献します。



■ 生物分布のマップ化

生物多様性情報を直感的なマップで可視化。整理された生物多様性情報は、インタラクティブなマップとして分かりやすくビジュアライズ化します。これにより、地域の生態系の状況や生物の分布を一目で把握でき、より直感的な情報活用を可能にします。



■ 地域の取り組み発信

地域の保全施策や取り組みを発信し、プラットフォームの利用者間の交流や取り組みへの参加を促進します。



自治体 福岡市 様

目的 生物多様性センターの設立と効果的な運用

提案内容

- 親しみやすいUI/UXのご提案
- 生物多様性への理解を促進するコンテンツの作成
- アプリ「Biome」での市民参加型生物調査の実施と結果のフィードバック

生物多様性ふくおかセンターは、生物多様性の保全に向けた取組みの促進を図るために、令和7年1月20日付で開設されました。本センターは、地域の生物多様性保全の核として、「生物多様性に関する情報の発信」「多様な主体間の連携・協力の斡旋」「生物多様性を学べる機会の創出、市民や企業等の行動変容の促進」を行っています。

バイオームはセンター設立にあたって、WEBサイトの構築およびコンテンツ作りをご支援させていただきました。また、センター内のコンテンツ「ふくおかいきものマップ」と連動した生物調査企画「ふくおかいきもの調査隊」を、アプリ「Biome(バイオーム)」において実施しています。



生物多様性ふくおかセンター



ふくおかいきもの調査隊

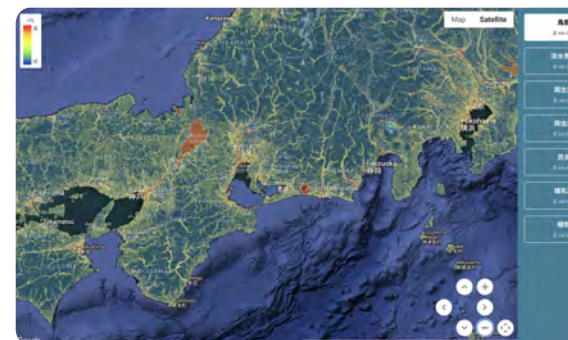


地域の生物多様性可視化・分析

ご予算：200万円～

国内最大級の生物多様性ビッグデータを活用し、ご要望や課題に応じた最適な技術を組み合わせて提供する生物多様性分析支援サービスです。生物多様性のポテンシャル評価、保全効果の最大化、

緑地計画や土地利用の設計など、計画立案から実行方針まで、データに基づいてご支援します。



提供内容

■ 分布推定モデル(SDM)

弊社がこれまでに収集した膨大な生物多様性データを基盤に、独自の技術で生物各種の詳細な分布推定を行います。最小100mの解像度で生息ポテンシャルを評価でき、これまで把握が困難だった地域の生態系状況も捉えることが可能です。



■ 多様性ポテンシャル評価

種分布モデリングの結果を活用し、お客様が指定するあらゆる地点の生物多様性ポテンシャルを推定する技術を提供します。これにより、開発計画地における生態系への影響評価や、保全における優先順位付けなど、データに基づいた意思決定を強力にサポートします。



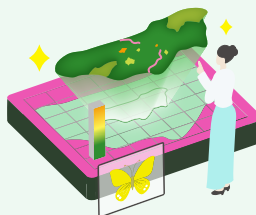
■ エコロジカルネットワーク解析

生きものの空間的な移動経路を推定する技術です。これにより、エコロジカルネットワーク、すなわち生物が移動・分散するために必要な連結した生息地や通路を詳細に把握することが可能です。



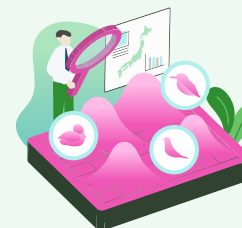
■ 相補性分析

種分布モデリングの知見を応用し、保全活動を行うべき地域の優先順位を最適化する技術を提供します。この技術を用いることで、限られたリソースの中で最大限の保全効果を発揮できるよう、どの地域に注力すべきかを科学的根拠に基づいて決定できます。



■ サイトシナリオ分析

土地利用変化に応じた種組成の応答推定技術。私たちは、土地利用の変化が特定の地域における生物種組成にどのような影響を与えるかを推定する技術を提供します。この技術を用いることで、開発や環境変化が将来的に生態系へ及ぼす影響を予測し、よりよいまちづくりを推進できます。



自治体 名古屋市 様

- 目的
- ・ネイチャーポジティブへの実現アクションへ向けた事業者への普及啓発
 - ・市域の生物情報の不足
 - ・市民への普及啓発

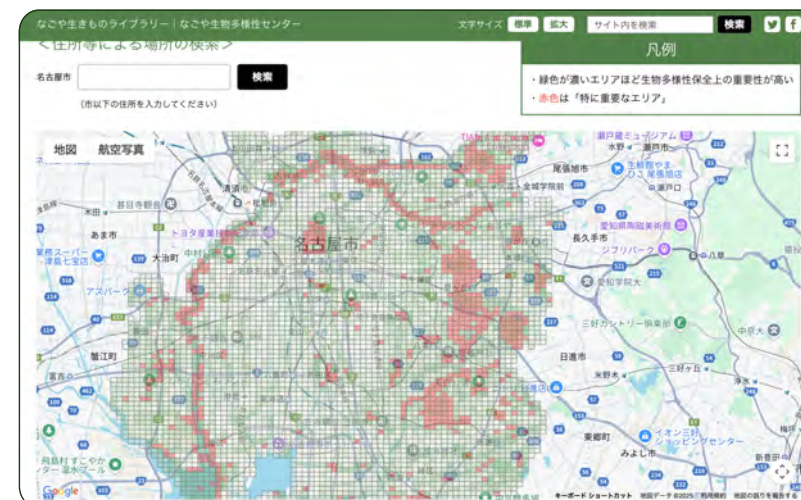
提案内容

- アプリ「Biome(バイオーム)」によるクエストイベントの実施
- データの分析

名古屋市では、生物多様性に配慮したまちづくりを推進するため、2023年よりアプリ「Biome(バイオーム)」において、「なごやいきものクエスト」を配信し、名古屋市内の生物分布状況を調査しています。投稿された情報は、市内の保全すべき重要地域を示した「生物多様性重要エリアマップ」の作成にも活用されています。



なごやいきものクエスト(名古屋市様ホームページ)



名古屋市内の生物多様性重要エリアマップ



生物多様性の保全を社会の当然に。



株式会社バイオーム

- 本社オフィス 京都市下京区中堂寺南町134番地 ASTEMビル8階
- 烏丸オフィス 京都市下京区綾小路通新町東入善長寺町143 マスギビル305

TEL 075-432-7622 MAIL info@biome.co.jp

公式サイト <https://biome.co.jp>

アプリ「BIOME」



Biomeウェブサイト関連キーワード▼

生物データプラットフォーム／アプリ／生物調査／OECM／自然共生サイト／
地方創生／イベント／環境教育／政策立案／施策評価／グリーンインフラ／
ランドスケープ／生物目録（インベントリ）／保護区／生物多様性ホットスポット

